

# ベポタスチニベシル酸塩「タナベ」を お飲みになる患者さんへ

ベポタスチニベシル酸塩「タナベ」は、アレルギー性鼻炎、尋麻疹、皮膚疾患に伴うかゆみ（湿疹・皮膚炎、痒疹、皮膚瘙痒症）の治療に用いられます。化学伝達物質ヒスタミンの働きを抑え、アレルギーの症状を改善します。



OD錠は、口の中で溶けやすく、水なしでも飲むことができます。  
ただし、寝たままの状態で服用しないでください。

# おくすりを飲むときに注意すること

- ◆おくすりはPTPシートから取り出してお飲みください。
- ◆次のような方は使う前に必ず担当の医師と薬剤師に伝えてください。
  - 以前におくすりを使用して、かゆみ、発疹などのアレルギー症状が出たことがある。
  - 腎機能障害がある。
  - 妊娠中、妊娠している可能性がある、授乳中。
  - 他におくすりなどを使っている（お互いに作用を強めたり、弱めたり、または副作用が出たりすることがあります）。

## ◆生活上の注意

- 眠気を催すことがありますので、車の運転など危険を伴う機械の操作を行う時には注意してください。
- アルコール（飲酒）は、おくすりの作用を強めることがありますので、アルコール（飲酒）は避けてください。
- 季節性のアレルギーの場合は、その季節の直前に飲み始めて、アレルギーの季節が終了するまで、指示に従って飲んでください。

## ◆保管上の注意

- 乳幼児、小児の手の届かないところで、直射日光、高温、湿気を避けて保管してください。
- おくすりが残った場合、保管しないで廃棄してください。



## このおくすりを使ったあと気をつけて いただくこと(副作用)

◆主な副作用として、**眠気**、**口渴**、**吐き気**、**嘔吐**、**胃痛**、**下痢**、**胃部不快感**、**けん怠感**、**尋麻疹**などが報告されています。このような症状に気づいたら、担当の医師または薬剤師に相談してください。

上記以外でも気になる症状が出た場合は、医師または薬剤師に相談してください。



# アレルギーについて

## アレルギー性鼻炎と アトピー性皮膚炎

【監修】

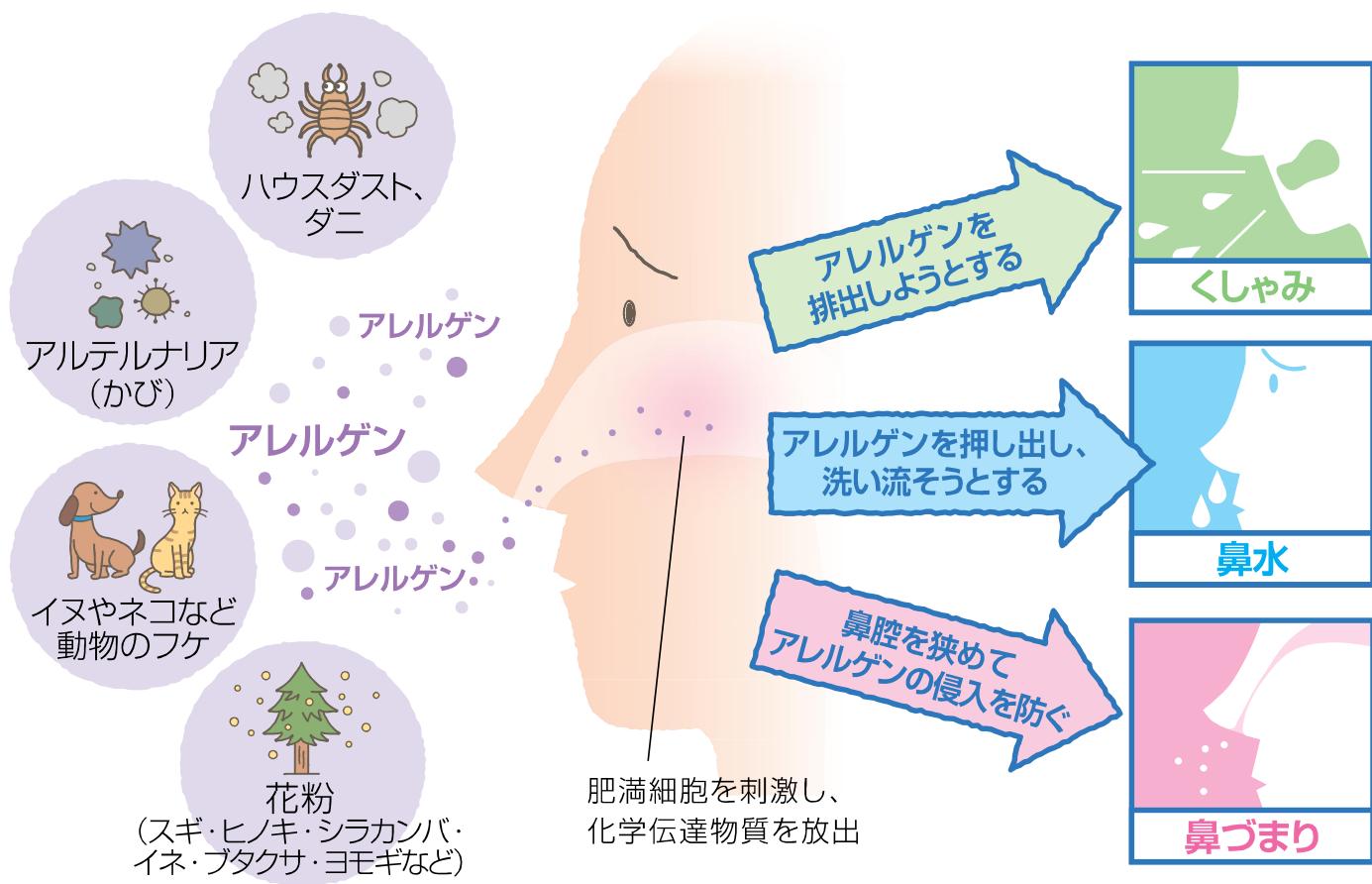
医薬情報研究所／  
株式会社エス・アイ・シー  
公園前薬局（東京都）  
薬剤師 堀 美智子 先生



# アレルギー性鼻炎

## アレルギー性鼻炎発症の仕組み

「アレルゲン」と呼ばれるアレルギーを引き起こす原因物質が鼻やのどの粘膜から体内に入り込み、肥満細胞という細胞を刺激します。すると、ヒスタミンを中心とした化学伝達物質が神経や血管に放出されます。これらがアレルギー性鼻炎の症状を引き起こすのです。



これらの反応が過剰に起こるため、日常生活に支障が出てしまう

アレルギー性鼻炎の薬は長期間服用する必要があるので、効果と副作用(とくに眠気)をあわせて考慮して、薬を選択します。また、スギ花粉は1月あたりから少しづつ飛んでいます。本格的なシーズンが始まる前から薬を使用すると効果的です。

## 日常生活での予防と対策

アレルギー症状を少しでも軽くするには、日々の予防も欠かせません。アレルゲンごとに対策をしっかりと行いましょう。

### 花粉

- 花粉情報をこまめにチェックする。
- 外出時にはメガネやマスクをして、花粉が目や鼻に付着しないように心がける。花粉の付きやすそうな毛足の長い服は避ける。
- 帰宅したら、必ず衣類や髪に付着した花粉を払い落し、洗顔・うがいなどを行う。室内に花粉を持ち込まないようにする。
- 洗濯ものや布団を取り込むときも花粉を払い落としてから室内に入れる。
- 花粉が飛散しているときの換気には十分気をつける。

### ハウスダスト・ダニ／カビ

- 掃除機かけを定期的に行う。
- ベッドマットや布団、まくらなどにダニ防止用のカバーをかける。
- 布団をこまめに干して、布団の湿気を取り除くようとする。掃除機をかけ、清潔に保つ。シーツや布団カバーは定期的に洗濯をする。
- フローリングの床など、ホコリの立ちやすい場所は拭き掃除の後に掃除機をかける。
- 換気を行い、室内的風通しをよくする。除湿機を用いて、部屋の湿度を上げないようにする。

### イヌやネコなど動物のフケ

- 室内飼いは避ける。
- ペットとペットの飼育環境を清潔に保つ。
- 室内の通気をよくして、掃除をこまめに行う。
- フローリングの床など、ホコリの立ちやすい場所は拭き掃除の後に掃除機をかける。

# アトピー性皮膚炎

## アトピー性皮膚炎とは

皮膚のバリア機能が弱く肌が乾燥している人や、皮膚の表面から体内に侵入したアレルゲン(アレルギーの原因となる物質。ダニ・ホコリ・食べ物など)による免疫の異常反応、ストレスのほか、多様な環境的要因が重なって起こると考えられています。

### 症状

顔やひじ・ひざの内側や外側、太ももの付け根など、様々な部位にかゆみの強い炎症が現れます。

- 赤みのある湿疹
- プツプツと盛り上がりのある湿疹
- ジュクジュクとした湿疹
- しこりのような湿疹

これらにかゆみが伴います



## 搔破行動について

搔く、たたく、こする、つねるといった皮膚を刺激する行為のこと。イライラしたときや疲れているときなど、かゆみに関係のないストレス状態のときにも同じ行動を起こしてしまいます。

## 習慣化を防ぐために、搔く以外のストレス解消法を見つけましょう

- 楽しいこと、好きなことを見つける
- リラックスできる時間を作る
- 生活の中で、搔破行動をしてしまうパターンを知る→別の行動をとってみる

# おくすりの飲み方と量

- ◆通常、1回  錠を1日2回お飲みください。
- ◆おくすりの飲み方と量は、あなたの年齢や症状にあわせて、医師が決めます。指示のとおりに飲んでください。

## 飲み方

- ① 飲むときはコップ1杯程度の水またはぬるま湯と一緒に飲んでください。OD錠は口の中で速やかに溶けますので、水なしでも服用できます。その場合には、溶けた後に、唾液で飲み込んでください。ただし、寝たままの状態では水なしで飲まないでください。
- ② 飲み忘れた場合は、気がついた時にできるだけ早く飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合は、忘れた分は飲まないで、1回分を飛ばしてください。  
絶対に2回分を一度に飲んではいけません。
- ③ 誤って多く飲んだ場合は、医師または薬剤師に相談してください。
- ④ ご高齢の方は、特に医師の指示を守って使用してください。
- ⑤ 医師の指示なしに、自分の判断で飲むのを止めないでください。

医療機関・薬局名